

JAバンク栃木における地域密着型金融の取組状況（平成 21 年度）

JAバンク栃木（栃木県下 10 JA と農林中央金庫宇都宮支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 19～21 年度 JAバンク栃木中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

平成 21 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （JAバンク栃木の農業メインバンク機能強化への取組み）

JAバンク栃木は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

JAバンク栃木は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 22 年 3 月末時点の JAバンク栃木の農業関係資金残高は、265 百万円となっています。

【資金種別別農業資金残高】 単位 億円

種 類	22年3月末現在
プロパー資金	170
農業制度資金	95
（農業近代化資金）	（69）
（その他制度資金）	（26）
合 計	265

（注）

- 1 プロパー資金とは、JA原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、地方公共団体が利子補給等を行うことでJAが低利で融資するもの、日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここではの転貸資金とを対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 単位 億円

種 類	22年3月末現在
日本政策金融公庫資金	111
そ の 他	0
合 計	111

（注）

JAバンクでは、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

【営農類型別農業資金残高】 単位 億円

	22年3月末現在
農業	226
穀作	55
野菜・園芸	56
果樹・樹園農業	14
工芸作物	1
養豚・肉牛・酪農	47
養鶏・鶏卵	0
養蚕	0
その他農業	53
農業関連団体等	39
合計	265

(注)

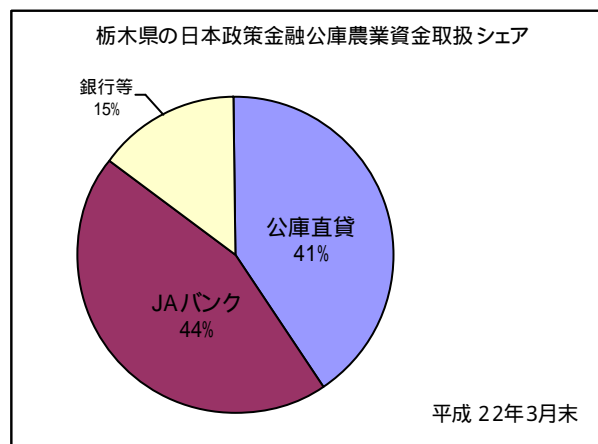
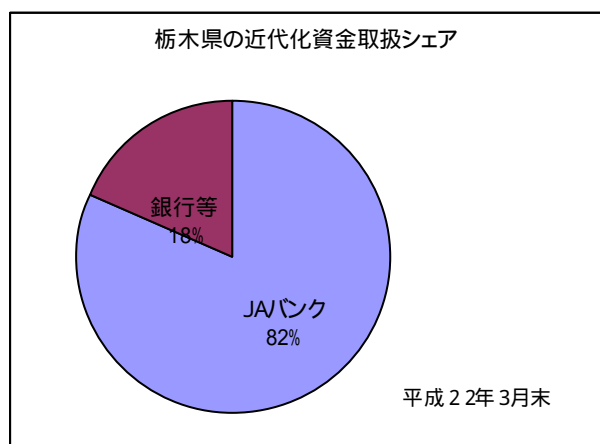
1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。

4 金額については、億円未満を四捨五入しています。

JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【栃木県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】


(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク栃木では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本支店（所）の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。

また、県内10JAの本支店（所）には71名の「担い手金融リーダー」が設置され、活動をサポートしています。

農林中金宇都宮支店では、JAにおける農業融資機能の強化に向けた取組みをサポート（農業者からの相談のバックアップ、JAとの協調融資など）しています。

(3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との情報共有化の取組みや農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

具体的取組事例

農業・農政の情報や農業資金・利子助成等についての理解を深めてもらい、農家支援の取組み強化を図ることを目的に開催したJA担い手金融リーダー会議の参加対象に、営農・経済渉外担当者等も加え、ディスカッションを行なうなど事業間連携に資する取組みを行いました。



JAバンク 栃木

JAバンク栃木では、JAグループ栃木が主催するパワフルアグリフェア（農機具展示会）に協賛し、JAバンクコーナーにおいて、来場者等に対する農業資金等のPR、相談活動を実施いたしました。



2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク栃木は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク栃木では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

単位 件, 百万円

	平成 21 年度 実行件数	平成 21 年度 実行金額	平成 22 年 3 月末 残 高
就農支援資金実績	2 2	1 5 6	7 0 9
その他	0	0	0
合計	2 2	1 5 6	7 0 9

(2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク栃木では、農家負担軽減支援特別資金の対応にあたり、農業者の経営再建に向けて関係機関と協議しました。

【平成 21 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先数)

	経営改善 支援取組 先	のうち 期末に債 務者区分 がランク アップし た先数	のうち 期末に債 務者区分 が変化し なかった 先数	のうち再 生計画を策 定した先数	ラ ン ク	事業計画	
					ア ッ プ 率 = /	策 定 率 = /	
正常先	4	0	4	0	0.0%	0.0%	
要 注 意 先	うちその他要注意先	3	0	2	1	0.0%	33.3%
	うち要管理先	0	0	0	0		
	破綻懸念先	22	0	16	6	0.0%	27.3%
	実質破綻先	19	3	14	19	15.8%	100.0%
	破綻先	1	0	0	1	0.0%	100.0%
	小計(~ の計)	45	3	32	27	6.7%	60.0%
	合 計	49	3	36	27	6.1%	55.1%

注)

- ・債務者区分は平成 21 年 4 月時点で整理しました。
- ・経営改善支援取組先は、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は に含めていますが、 に含めていません。
- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
- ・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・「再生計画を策定した先数」= 「農業再生委員会の再生計画策定先」+ 「金融機関独自の再生計画策定先」

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンク栃木では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

JAバンク栃木では、農業者の経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。平成21年度の実績は以下のとおりです。

【平成21年度負債整理資金の貸出実績】 単位 件, 百万円

資金名	実行件数	実行金額	H22/3末 残高
農業負担軽減支援資金	0	0	66
畜産特別支援資金	2	38	120
その他	2	6	6
合計	4	44	192

- ・ 農業負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜特資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク栃木では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 被災者等への支援

JAバンク栃木では、被災者等を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

単位 件, 百万円

取組事例	JA名	内容	件数	貸付実行金額
JAかみつが農業経営資金融資「20年産いちご」の対応	JAかみつが	農産物(苺)価格の下落により影響を受ける農家・組合員に対し、生産資材代金決済および生活関連資金の融資を行ないました。	15	12
平成20年2月24日の強風害による被害農業者に対する災害資金対応	JAしおのや JAなすの	JAしおのや、JAなすのでは、強風で農畜産物等の被害を受けた組合員に対し、栃木県・市町村・JAが利子補給を行い、低利の資金の融資を行いました。	11	19

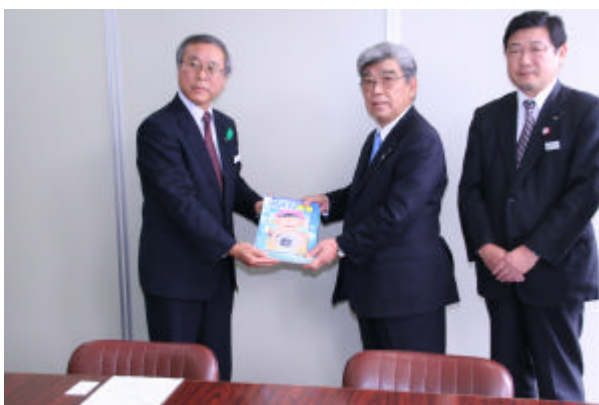
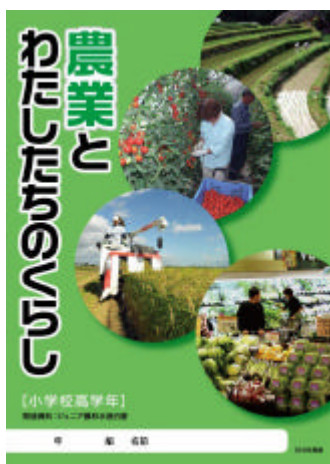
取組事例	J A 名	内 容	件数	貸付実行金額
平成 20 年 5 月 26 日の降ひょう害による被害農業者に対する災害資金対応	J A はが野 J A なす南	J A はが野, J A なす南では, 降ひょうで農畜産物等の被害を受けた組合員に対し, 栃木県・市町村・J A が利子補給を行い, 低利の資金の融資を行いました。	10	11
合 計			36	42

上記中の災害資金については, 農林中金, J A 共済連栃木, J A 全農とちぎが連携して利子補給を行い, 被災農業者の利息負担をなくし, 早期に経営基盤を確立できるよう支援を行っています。

(2) 地域住民の農業に対する理解促進

J Aバンク栃木は, 地域の小学生の農業に対する理解を促進するため, J Aバンク食農教育応援事業を展開し, 農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は, J Aバンクを通じて, 県下の小学校 404 校へ, 21,610 セット配布され, 学校の授業等において活用されています。



【写真左：教材「農業と私たちの暮らし」表紙】【写真右：栃木県教育委員会須藤教育長への教材贈呈の様子（写真真中は, J A 栃木中央会伊澤前会長, 右は農林中央金庫宇都宮支店等々力支店長）】

また, 県下 J A では, 下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A 名	活動名	活動内容
J A うつのみや	作文・図画コンクール	小中学生を対象に, 「ごはん・お米とわたし」を題材とした作文・図画を募集し, 食の大切さや命を支える農の役割について理解・関心を深める取組みを行いました。
J A かみつが	農業体験学習	小学生を対象に, 学校農園で農作物づくりの農業体験学習, 地産地消の取組みとして学校給食への食材提供を行いました。

JAはが野	農業体験教室 (未来ちゃんクラブ)	小学生を対象に、JA管内の地区(真岡・二宮・益子・茂木・市貝・芳賀)ごとに、それぞれ地域の特色を持った農業体験教室を行いました。
JAしもつけ	農業体験学習	園児・小中学生を対象に、大豆栽培、かぼちゃ栽培、田植え、さつま苗植、親子クッキング等の農業体験・調理実習を行いました。
JAおやま	図画コンクール	小学生を対象に、JAまつりで募集した図画を展示し、食への安心・安全に対する理解を学びました。
JA佐野	農業体験学習	小学生を対象に、苺の収穫・ジャム加工体験、牛乳工場視察、梨・さつまいもの収穫等の農業体験学習を行いました。
JA足利	バケツ稲づくり体験	小中学生を対象に、バケツ稲づくり体験により、育成課程の観察等を通じた食農教育活動を行いました。
JAしおのや	児童生徒作品 コンクール	小中学生を対象に、農業に関する絵画・習字の作品を募集し、JAまつり特設コーナーに展示することで、農業の理解を深める取組みを行いました。
JAなすの	親子農業体験事業 (なっちゃんクラブ)	小学生親子を対象に、農作物(落花生、梨、里芋そば等)の種まきから収穫、調理して食べるまでの農業体験や調理実習を行いました。
JAなす南	児童作品展覧会	園児・小中学生を対象に、農業を題材に募集した書道・絵画をJAまつりの際に食農教育コーナーを設け展示いたしました。

以 上